



沖縄尚学 附属中PTA新聞

第59号 令和元年9月30日 発行

編集 沖縄尚学高等学校附属中学校 PTA文化教養部 〒902-0075 那覇市国場747番地 TEL (098) 832-1767・853-1579 <http://www.okisho.ed.jp>
発行 有限会社 南風原印刷 TEL (098) 834-1616

沖縄尚学の道德教育

グローバル社会を生きるための 判断・行動基準を学ぶ



沖縄尚学高等学校
附属中学校 校長
博士(教育)
名城 政一郎

今年度から日本全国の中学校で道德の授業が始まりました。これは戦後の日本の教育にとって、新時代の到来を象徴する画期的な出来事であり、その教育内容が今後の「日本人」と「日本」という国の在り方に重大な影響を及ぼすこととなります。なぜなら、道德教育は生きていくうえでの「公私のバランスを判断し行動する基準（プリンシプル）」を身に着けることを目的としているからです。「公」とは「自分が帰属意識を持たねばならない社会」の基準、「私」とは「個人としての自分」の基準を意味します。現在の日本社会の課題は「公」が日本だけでなく、アジアそして世界にまで広がっていることと、「私」が「公」を侵食する事例が増えていることです。日本の道德教育は、この現実を踏まえたものでなければなりません。

太平洋戦争以前の日本には道德を教える教科として「修身」が存在していました。その良し悪しは別にして、家庭では「孝」、社会では「忠」をコアとして持った「日本の大人」を育てることが目的でした。戦後は、その反動でナショナリズム的色彩の強い「修身」は

姿を消し、道德教育自体も軽視されるようになりしました。その結果、「大人の要件」もあいまいになり、日本人としての、そして大人としての責任感が希薄な「大人とは言えない大人」が増えました。ヘイトスピーチ、SNSでの暴言、不適切な動画の投稿、あおり運転、親の子供に対する虐待などは「法律さえ守ればあとは個人の自由」、「法律だけで十分、それ以上の規範（道德）は必要ない」と宣言しているように見えます。このような現状に危機感を覚えているのは私のような教育者だけではないと思います。

日本の「私立学校法」では私学の特徴はその独自性と公共性のバランスにあるとされています。これをふまえ、日本私立中学高等学校連合会は、私学における道德教育は「教育にかかわる法律（公共性）」と各学校の教育理念（独自性）をふまえて実施されるべきとしています。公立にはない、私学の独自性が色濃く表れる分野が、道德教育と言ってもいいでしょう。

沖縄尚学の道德授業の習得目標は、グローバル社会を生きていくための「公私のバランスを判断するグローバル基準」つまりグローバルシティズンシップ（グローバルに通用する大人の資質）を身に着けることです。「グローバル基準」とは、「公」が沖縄、日本、アジア、世界と変化しても応用可能な基準という意味で、「公」に応じた「三方良し」とプロセスの妥当性を保証する「セルフマネジメント」がコアとなります。紙面の都合上これ以上の



USAF太平洋音楽隊と 本校吹奏楽部ジョイントコンサート

コンサート後の記念写真



クラスでの集合写真



異文化交流の様子



盛り上がるコンサート



得意のドラムを叩く校長先生

説明は控えますが、沖縄尚学が文部科学省検定の「道德」の教科書を使用することで公共性を担保しつつ、「グローバル基準」をはぐくむという沖縄の「独自性」を生かした授業をどのように実践しているかを授業参観などとおして確認していただければ幸いです。

1学年1学期を振り返って

中一学年主任
川平 美羽

子どもたちと同じように不安と緊張で入学式を迎えましたが、彼らの希望に満ちた笑顔と、緊張しながらもピンと伸びた小さな背中に、「この子たちがいつも笑顔で、おはようと言えたらいいな」と言えるように頑張ろう！と誓ったことがつい最近のように

す。
学年主任として初めて迎える一学期は、糸満青年の家での宿泊研修や身体測定、総合学習など……バタバタとあつという間に過ぎてしまいました。多忙な中でもいつも心の支えになったのが、子どもたちの笑顔と元気

な声でした。一学年の子どもたちは挑戦することをおそれず、どんな活動でも前向きに取り組む姿は、いつも私の心配を一瞬で取り払ってくれました。
逆に、彼らから挑戦することはまず楽しむことが大事だということ、何事も前向きに取り組むことが良い結果につながることを改めて学びました。これからも彼らのきらきらした笑顔のために、常に愛情をもって寄り添える教師でありたいと思います。残り半年、彼らとともに成長と輝きのある一年にしたいです。

玉泉洞での体験学習

一年一組 高良 花漣

「おきなわワールド玉泉洞」にて沖縄伝統工芸の体験学習がありました。

シーサー作りや紅型等のいくつかの中で、私は藍染めを選びました。初めての藍染めは、独特な匂いがして慣れるまで時間がかかりましたが、作業はとても楽しかったです。ハンカチに石や割りばしやゴムを使って模様をつけます。布全体が藍色になるまで藍につけます。布の色が濃い緑色に変色するまで乾かします。割りばしやゴム、石を外します。絞っても藍が出ない程度に布を洗い、絞ります。アイロンできれいにシワを伸ばしたら出来上がりです。初めて



藍染体験 うまく仕上がりました

の貴重な体験ができてとても良かったです。



総合学習 おきなわワールドにて



総合学習 エイサー見学後の昼食



宿泊研修の様子



宿泊研修 ドッチボールの作戦会議

美味しい焼肉への道

1年3組 秋山 華瑠

副級長として、

級長と協力しながら三組をまとめることと、出来るだけクラスに貢献したいという思いで、初めてのスポーツフェスタに臨みました。悔しい思いも、楽しい思いもしながら、全力で競技に励みました。総合1位になってみんなで焼肉に行くぞ



バトンの受け渡し



賞状を渡す川平先生（右手前）

という目標は達成出来ませんでした。一致団結して頑張ったので、當山健先生が焼肉に連れて行ってくれました。みんなで力を合わせて頑張ったので、いつも以上にすごく美味しかったです。みんなが頑張ってくれたことが何より嬉しく思いました。来年も頑張るぞ！



歓喜あふれる表彰式

琉球舞踊を鑑賞して

一年七組 平良 和奏

私は琉球舞踊をテレビで少し見たことがあるくらいで、あまりよく知りませんでした。そんな私にとって今日の体験はとても貴重でした。講師の先生方のお話を聞いて、琉球舞踊に対するイメージが変わりました。私が琉球舞踊と聞いて思い浮かぶのは、女性がゆったりとした三線と歌に合わせてゆっくり踊るといイメージでしたが、実際は男性が踊るものではないことを知りました。沖縄に住んでいながら、伝統芸能について知らなかったのもっと知らないとい

けないと思っていました。九月の講話も楽しみにしています。



国立劇場おきなわの役者さんらと三線と踊りも共演しました



三線に合わせて踊りを習う生徒たち

中2(1学期)の行事を振り返って

中2文化教養部では、「1学期を振り返って」というテーマで生徒たちの感想文を募りました。それと1学期の行事の写真をピックアップ、1面の行事写真も中2が参加しました。



中学体育館にて空手授業 床が新しく張り替えられました

憧れの祖父の姿
二年一組 儀保 歌音
私の好きな教科の一つに空手がある。空手には昔から興味があつ



平和祈念資料館 沖縄戦について学ぶ



平和学習 平和の礎に合掌する(6/21)

た。祖父の家の扉や壁に貼られている、空手をしている祖父の姿だ。私はそれに強い憧れをもった。
月日は経ち、沖縄尚学の生徒となり、肌身で空手に触れることができた。私が憧れていたものと全く同じだった。まだまだ未熟な私だが、飛び級もさせてもらい、空手を楽しめている。
郷土の文化を受け継ぐことは、とても大切なことであり、郷土の文化を広められるグローバルな人間を目指し、これからも日々の練習に励みたいと思う。

県大会を応援して

二年二組 饒平名 知成
私は今、男子バレーボール部に所属していて、七月末に三年生の県大会(石垣島)があったので、一・二年生で応援に行きました。この年は、たまたま六年に一度の本島外で行われる大会だったので、とてもワクワクしていました。試合では応援する部員は皆メガホンを持ち、頑張りました。一回戦は二対〇で勝ち、二回戦は〇対二で負けてしまいました。次は私たちの代なので、頑張りたいと思います。

諦めなかった混成リレー

二年三組 島袋 リの
五月二日にスポーツフェスタがありました。私たち二年三組は、リレーで1位を取ることができました。初め、混成リレーは息が合わず、練習で毎回最下位でした。けれども、先生にお願いして、体育館を使ってクラス皆で自主練習をしたことで、本番では四位まで



スポーツフェスタ 表彰され歓喜する生徒たち(5/21)



スポーツフェスタ 三人四脚

いくことができました。私たちが四位になったのは、最後まで目標に向かって諦めなかったからだと思えます。この経験を活かして、勉強も部活も目標に向かって、諦めずに頑張っていきたいです。

一学期を振り返って

二年四組 大城 瑞希
私が一学期を振り返って良かったことは、担任の(山下)先生が思っていたよりも優しく、生徒のことをよく考えてくれる先生だったことです。クラスに真面目に向き合い、悪いことはしっかりと

叱るいい先生だと思いました。次に私が反省したことは、テストで惜しいミスが多かったことです。これをふまえて二学期ではテストで見直しを何度もするくせをつけて、目標にしている大学に進学できると思っています。

一学期を振り返って

二年五組 山本 修司
二年五組の副級長を務めました。クラスの皆が自主的に動いてくれたので、大変だったことは特にありません。副級長の仕事である級長のサポートは、目標は達成できたとは思っています。成長した点は、時間を大切にするようになったことです。クラスをまとめて予定通りに動かなければならないので、時計を意識することが多くなったと思います。一学期を楽しく過ごせて良かったです。



宿泊研修 初の試みカレー作り

コース移動したこと

二年六組 大塚 梨世
私が進級してパイオニアコースに移してみると、周囲の生徒の勉

強に取り組む意識の高さ、時間の使い方に驚きました。さらに数学の習熟度別クラスでの授業や結果を出さないといけないプレッシャーが私にとってすごく不安になりました。しかし自分なりに勉強していくうちに、徐々に慣れました。また周りの勉強の取り組み方が自分に合っていて、良い刺激になりました。



英語の授業風景

一学期の出来事

二年七組 山田 叶乃
私たち二年七組は、とても団結力があり、男女共に仲良く、頼もしいクラスです。先日行われたスポーツフェスタでは、担任の先生に相談して授業の時間をもらい、一生懸命練習しました。男女共にお互いを指摘しあったり、勝負したりしました。そのおかげで本番では、ベストタイムと言っているほどの速さで、圧倒的な差をつけ、一位に輝くことができました。その時に味わった達成感や喜びは、言葉にできないほど大きかったです。これからも大きなイベントがあります。七組らしく楽しめたいと思います。

中学3年生

～修学旅行・思い出の全ルートを進む記録～

阿吽像は人間には不可能なポーズで彫刻されたり、細かいところまで表現されていて凄かった！



2日目(6/25) 京都



大仏がものすごく大きくて圧倒された



1日目(6/24) 奈良



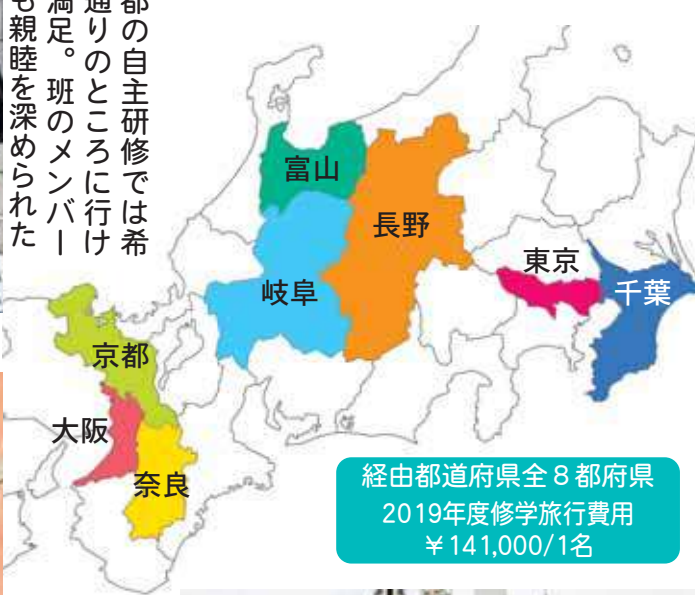
鹿が想像していたより大きくてびっくりした



3日目(6/26) 黒部ダム



黒部アルペンルート移動中は標高が高く6月なのに雪が残っていて寒かった



経由都道府県全8都府県
2019年度修学旅行費用
¥141,000/1名

黒部アルペンルート

画像引用 株式会社阪急交通社
<https://www.hankyu-travel.com/chubu-hokuriku/alpen/>



水流に吸い込まれそうな気持ちになった



4日目(6/27) 東京大学+ICU



先輩たちの話も聞けて勉強の励みになりました！

5日目(6/28) 東京ディズニーランド



友達とまわるディズニーは本当に夢の国でした！

☆6月24日(月)～28日(金)の4泊5日

- 1日目**：奈良・東大寺で大仏やシカを見物、京都に向かった。
- 2日目**：午前／京都にて各班のプランでタクシー班別研修
午後／岐阜県高山市まで約5時間のバス移動
- 3日目**：今回の修学旅行での一番の難所、立山黒部アルペンルート。様々な乗り物を使いながら標高も高くなり、黒部ダムでは壮大な放水と雪を見ることができた。初めて雪を見る生徒は雪だるまを作るなど貴重な体験も。
- 4日目**：特急あずさ号で一気に東京まで移動
東大とICU（国際基督教大学）ではOBの方と交流
在校生からICUの案内や特徴など紹介
- 5日目**：一番楽しみにしていたディズニーランド！

2019年度修学旅行を終えて



中3学年主任
沖吉 献

中学校生活最大のイベントのひとつ、修学旅行を実施しました。今回の修学旅行で慣れない集団生活の中、生徒たちがルールを遵守し、互いに声を掛け合い、良い修学旅行にするために一生懸命努力してくれました。普段は体験することのできない自然や文化に触れ多くの人との出会いで感動を得る素晴らしい修学旅行になったと確信しています。生徒達が今回の修学旅行を通して多くのことを学び成長し友情を深め、クラスや学年全体の団結力もより一層強まり、記憶に残る最高の修学旅行となりました。



出発式

今夏、短期留学（SEP）に参加し、異文化交流を経験する事ができました。短期留学に参加して、自分の英語力のなさを痛感しました。正しく発音しているつもりが、現地の方には、まったくという程通じず、何度も苦戦しました。私は、持ち前の明るさを生かして、身振り、手ぶりで何とか現地の方と会話をすることができ、現地の方も、正しい発音を何度も丁寧に教えてくれました。現地の方々は、初対面の私に、会話を続けようと、色々な質問をしますが、そこで話が途切れるような返し方をすると無言が続いたりしてしまうので、自分から質問してみたり、同

異文化交流で学んだこと

一年六組 多良間 星来



大学図書館内部



ワシントン州立大学

じ趣味などを見つけたりしてそこから会話を続けるようにすることは、とても大事な事だと学びました。

そして何より、私は、今回の異文化交流で、身の回りの人達の大切さについてきづかされました。ひとつ目は「家族の存在」です。家族の為に働いてくれる両親や私が困っていると助けてくれる兄たちの存在を当たり前と感じていました。しかし短期留学で家族と離れてみるとその存在がとても大きいものだったと気づくと、伝えきれない程の感謝の気持ちでいっぱいになりました。

二つ目は、「先生方や友人の存在」です。何かあった時にアドバイスをしてくれたり、困った時に助けてくれる人達の存在は、私にとって大きいものでした。私は、短期留学にとっても不安を感じていましたが、今私は、短期留学に参加して異文化交流を体験することにより、とても大事な事を学べました。最後に、今回の短期留学に携わっていただいた方々へ、大事のものを教えてくれた事にたいへん感謝しております。

Thank you very much.

異文化交流の重要性

高校英語科主任 比嘉 由紀子

本校は強くて優しい文武両道の「グローバル教養人」の育成を目指しています。その育成にも大きく関係するプログラムに、私は去る七月十一〜十三日の二日間アメリカワシントン州で行われた第二回SEP（サマー・イングリッシュ・プログラム）に引率者として参加しました。

これは本校OB喜舎場貴之氏が代表取締役社長を務める DOLBY Solutions が企画し、五市町村（東村・本部町・北中城村・中城村・南城市）在住の中高生対象に加

えて昨年度から冲尚生も応募できるようになった研修です。

今回応募した冲尚生十四名（内五市町村から七名、総勢六十三名）は現地で貴重な体験をし、自信と達成感に満ちた表情で帰国しました。本校は様々な異文化交流プログラムを提供しています（海外・県内・校外・ホームステイ受け入れなど）。それらは英語をさらに学ばせかけになるだけではなく、同じ目的を持った生徒が異なる文化を持った相手を尊重し共にルールを守り（文化力・

倫理観）授業や活動を通してやるべきことをこなすので（教養・コミュニケーション力）、四つの教育方針はもちろんのこと、名城政一郎副理事長が常日頃言われている「毎日が自己実現」、「できないことができるようになる」素晴らしい内容です。外国人と接する機会が益々増えるこれからの社会では、冲尚在学中に外国人を尊重し対話する姿勢を一度体験すれば、この経験が将来世界のどこかで彼らと問題に直面した時でも感情に流されずに

理性的に話し合いで平和的に解決できるきっかけにつながります。また、このような対応力は外国人に対してのみ通用するものではなく、日本人に対しても多いに活用できます。将来の生徒たちのために一人でも多くの生徒が本校在学中にベストなタイミングで異文化交流プログラムに参加できるよう保護者の皆さまのご理解、ご協力を宜しくお願いします。

【追記】所定の条件を満たせば、本校から教育提携校のワシントン州立大学へ進学できます。】

校の提携校セントジョーンズ大学に海外出張してまいりました。

平日午前中、大学構内でネイティブの講師陣による授業（もちろん全て英語で行います）、午後はカウンセラー（大学生を中心としたボランティアスタッフ）とのアクティビティを通して、英語力、コミュニケーション力を学び高めていきます。

授業は三名の講師らが交代で担当します。普段学んでいる「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語力を確かめる良い機会でした。英語漬けの環境のもと、日増しに生徒たちが「どうにかする力」を発揮し、「できないことができるようになる」という成長を間近で見ることができ、生徒たちの適応力に感心しました。またSAPの特色のひとつでもあるカウンセラーとの交流では、六人グループで五名のカウンセラーと常に行動を共にしながら寮生活を行い、二十日間、



本校の異文化交流プログラムのひとつ、米国ミネソタ州で行われるSAP（サマー・アドバンスメント・プログラム）に中学生十名（二年一名、三年九名）、高一生二十名と共に引率者として参加しました。七月七〜二十六日（実質二十日間）の期間、本



授業の合間にアクティビティ



ベースボール観戦

密度の濃い時間を過ごしていきます。期間中は毎日、カウンセラーとの一対一の面談の時間も設けられています。カウンセラーと過ごす時間で、日に日に英会話が上達し、冗談を言い合う、相談ごとをするなど強い絆が生まれます。

休日は観光名所を巡り、日本では、沖縄では味わえない壮大さを感じる体験もできます。最終日には修了証授与式が行われ、参加した生徒一人ひとりに修了証が手渡されます。式での生徒の表情は達成感と自信に満ち溢れており、「やり切った、出し切った」経験ができたのではないかと思います。

是非、SAPに積極的にチャレンジしてください。引率して感じたことは、「やはり、実際に経験、体験することに勝るものはない！」ということです。SAPは英語に対して苦手意識を持つている生徒でも参加しやすい、チャレンジしやすい内容です。教科としての英語ではなく、本場の英語に触れることで、英語への意識が変わり、取り組み方が変わると思います。そしてSAPの後には、ホームステイがあるプログラムであったり、高校在学中の一年留学であったり、本校の異文化交流プログラムにチャレンジしてみてもどうでしょうか。SAPは異文化交流のきっかけになるプログラムだと感じました。

サッカー部県大会出場と文武両道の実践

7月20日、西崎中学校にて県大会が開催され、本校は大宮中（名護市）と対戦しました。

県大会に6年ぶりの出場おめでとうございます。一言お願いします。文武両道、部活と勉強を上手に両立する方法などアドバイスをお願いします。

（顧問の吉田先生）チームが県大会までこられて

本当に感謝ありがとうございます。前年度の先生方が素晴らしいチームを作ってくださり、私たちがそのまま引き継いで、山下副顧問や金城コーチや父母会等が大事に育ててくださり、信頼し合えたうえでチーム一丸になって県大会出場を決められて本当に感謝いたします。

部活と勉強の両立を意識させるために、普段の生活面も厳しく指導しています。テスト8割以上をとれるように指導し、提出物等もしつかりやらせたうえで試合に臨ませています。

日常的に勉強と部活の両立ができるようにどんなサポートをしていますか。

（山崎父母会長）できるだけ送迎をして勉強と睡眠の時間が確保できるようにしています。その他にも栄養バランスの面や、とにかく少しでも睡眠をとれるように心がけています。

あとは子供が自分で時間の配分を考え部活からの切り替えをして、勉強に向かっていけるように意識付けができればと思います。

県大会に出場できてどんな気持ちでしょうか。

（宇良キャプテン）みんな気合いを入れて立ち上がったところまでできたのですが、今日の試合で負けてしまつてとても悔しかったです。今日の試合で負けたのは終わりましたが、高校に入ってもサッカーを続けるつもりです。



いづどんなやり方で勉強していますか？

（部活と勉強両立できている選手）部活のある日は勉強の時間はあまりとれないですが部活がない日はちゃんと勉強するようにします。解らないことがあればメモして、翌日、先生に聞くなどして勉強に取り組んでいます。授業中に集中して先生の話をきいて、重要なところはメモをとるようにします。

報告 王 瓊（PTA文化教養部）

県中学校バレーボール競技大会を終えて

今回の中学校総合体育大会は石垣島開催で、先生方、保護者の方々にサポートをしていただいていた大会に臨みました。2泊3日の大会期間中メンバーと過ごす時間が多くあり、みんなで揃ってプレーすることが中学で最後だと考えると、気合いが入る反面、泣きそうな気持ちにもなりました。

結果、1勝をもぎ取ることができ、最後の大会で目標としていた県ベスト16を達成することができました。

中学校最後の大会という素晴らしい舞台で、みんなでプレーすることができた事は一生忘れられない、幸せな思い出になりました。この経験と皆様に支えられた恩を忘れず、文武両道を目標とし、これまで以上に何事にも一生懸命に邁進したいと思っています。

（顧問の屋嘉先生）決して長くはない練習時間の中で、目一杯バレーボールを楽しみ抜いた生徒達が最後の大会で最高のプレーを見せてくれました。達成感 悔しさ、様々な思いを勝ち残ったチームに託しました。色んな体験をバネに、今後の活躍を期待しています。



最後に、大会会場では登録メンバーはコートで思いきりプレーに挑み、

今の3年生は全員バレーボール未経験でみんなすぐ下手でした。しかし、その分みんなが上手になろうという気持ちが強く、チームワークの強さにつながりました。1回戦の石垣中との対戦ではスタメンのみんなが拾って繋いで攻撃まで、いい流れを作れました。控えのメンバーも全員出場し、サーブで押して相手に攻めをさせない全員バレーボールで挑みました。その

応援メンバーは少ない人数を思わせない大声援でチームが一致団結していました。大会終了後に他校の保護者の方から素晴らしいプレーと応援でした、とお褒めの言葉も頂くことが出来ました。それぞれに思い出に残る大会となりました。

報告 崎間 さつき（PTA文化教養部）

CONGRATULATION

「表彰者の顔ぶれ」

空手部



本年度の那覇地区中学校夏季総合体育大会では上位入賞を果たし県大会まで勝ち進む部活動が増えました。男子得点順位15位、女子得点順位2位、男女総合得点順位6位でした。部活動と勉強の両立がたいへんななか、生徒たちはとても頑張ってくれました。また保護者の皆さんの部活動へのご協力にも厚く御礼申し上げます。紙面の都合上、一部の掲載となりました。ご了承ください。

女子バドミントン部



女子硬式テニス部



女子柔道部



水泳部



陸上部(女子)



県大会にて女子総合1位

陸上部(男子)



県大会にて男子総合1位

珠算部



新体操部



スポーツ活動表彰者一覧

2019(平成31・令和元)年

- 第51回春期短水路年齢別選手権水泳競技大会(平成31年4月14日)
(13～14歳)
・男子200m平泳ぎ **第1位**(2分30秒69) 吉岡円舵(3-7)
・男子100m平泳ぎ **第1位**(1分08秒06) 吉岡円舵(3-7)
・男子50m平泳ぎ **第1位**(31秒63) 吉岡円舵(3-7)
・女子200m個人メドレー **第1位**(2分26秒57) 加屋本悠(3-7)
・女子100m自由形 **第1位**(1分01秒70) 加屋本悠(3-7)
- 第73回宜野湾市ジュニアテニス大会(平成31年4月27日)
・女子ダブルス Aクラス **優勝** 柴門星夏(2-3)・熊野智花(3-3)
- 第12回沖縄県中学生春季空手道競技大会(平成31年4月28日)
・男子団体組手 **3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子個人形 **準優勝** 島袋生成(3-1)
・代表男子個人組手 **3位** 島袋生成(3-1)
・代表女子個組手 **準優勝** 佐藤永理(3-7)
- 第41回沖縄県中学校陸上競技選手権大会(令和元年5月19・20日)
・男共通 3000m **第4位**(10分01秒07) 濱田光(2-5)
・男2・3年 走幅跳 **第6位**(5m61) 玉城智椰(2-6)
・女共通 4×100mリレー **第2位**(52秒70)
照屋希歩(3-1)、牧崎百花(2-5)、照屋李依(3-5)、桃原伶歌(3-4)
・女2・3年 走幅跳 **第3位**(4m90) 牧崎百花(2-5)、
・女2・3年 100m **第4位**(13秒10) 桃原伶歌(3-4)
・女2・3年 100m **第7位**(13秒34) 牧崎百花(2-5)
・女2・3年 100mH **第5位**(17秒44) 照屋李依(3-5)
・女B 100mH **第3位**(17秒11) 照屋李依(3-5)
・女2・3年 四種競技 **第6位**(1278点) 星田真那(3-6)
・女2・3年 四種競技 **第7位**(1273点) 安田ほのか(3-5)
- 2019年度若夏国体記念水泳競技大会(令和元年5月12日)
・男子50m平泳ぎ **第1位**(32秒85) 吉岡円舵(3-7)
- 第51回西日本年齢別選手権水泳大会(令和元年5月26日)
(女子13～14歳)
・100m背泳ぎ **第1位**(1分07秒10) 加屋本悠(3-7)
- 第61回那覇地区中身体操・新体操競技大会(令和元年5月26日)
・新体操 女子個人総合 **1位** 堀切華(3-6)
・新体操 女子種目別クラブ **1位** 堀切華(3-6)
・新体操 女子種目別ボール **1位** 堀切華(3-6)
・新体操 女子個人総合 **2位** 野原すみれ(2-5)
・新体操 女子種目別ボール **1位** 野原すみれ(2-5)
- 第20回那覇地区中学校夏季空手道競技大会(令和元年5月18日)
・男子団組手 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子団体形 **準優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子団組手 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子個人組手 **優勝** 島袋生成(3-1)
・男子個人形 **準優勝** 島袋生成(3-1)
・男子個人形 **3位** 辺土名紗吾(1-4)
・男子個人組手 **準優勝** 金城利輝(3-6)
・男子個人組手 **3位** 松島史門(3-1)
・女子個人組手 **優勝** 佐藤永理(3-7)
・女子個人組手 **準優勝** 木場那菜(1-5)
・女子個人組手 **3位** 平田亜季(3-4)
・男子総合 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子総合 **準優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第42回那覇地区中学校夏季バドミントン競技大会(令和元年6月9日)
・女子団体 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子シングルス **準優勝** 和田七星(1-1)
・女子シングルス **3位** 城間心子(3-5)

- 第37回那覇地区中学校夏季テニス競技大会(令和元年6月9日)
・女子シングルス **3位** 熊野智花(3-3)
- 第52回那覇地区中学校夏季水泳大会(令和元年6月7日)
・男子 100m平泳ぎ **第1位**(1分08秒01) 吉岡円舵(3-7)*大会新
・男子 200m平泳ぎ **第1位**(2分33秒56) 吉岡円舵(3-7)
・女子 100m背泳ぎ **第1位**(1分08秒90) 加屋本悠(3-7)*大会新
・女子 100m自由形 **第1位**(1分02秒72) 加屋本悠(3-7)
・女子 200m個人メドレー **第1位**(2分37秒39) 當間千夏(1-1)
・女子 400m個人メドレー **第1位**(5分31秒49) 當間千夏(1-1)
- 第37回那覇地区中学校夏季テニス競技大会(令和元年6月8日)
・女子団体 **3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第61回那覇地区中学校夏季柔道競技大会(令和元年6月7日)
・女子団体 **優勝** 沖尚中学校A
・女子団体 **準優勝** 沖尚中学校B
・女子52kg以下級 **優勝** 島袋結子(3-2)
・女子57kg以下級 **優勝** 泰川寛野(3-4)
・女子63kg以下級 **優勝** 島袋芽子(2-4)
・女子70kg以下級 **優勝** 玉城美桜(2-4)
・女子70kg超級 **優勝** 宮里心寧(1-1)
- 第65回全日本中学校通信陸上競技大会沖縄大会(令和元年6月15・16日)
・女共通 4×100mリレー **第1位**(52秒36)
照屋希歩(3-1)、牧崎百花(2-5)、照屋李依(3-5)、桃原伶歌(3-4)
・女共通 4×100mリレー **第8位**(55秒98)
大見謝ゆな(2-7)、大嶺里緒(1-3)、上里真麻(1-3)、赤嶺結生(2-5)
・男子共通 1500m **第2位**(4分33秒50) 濱田光(2-5)
・女子2年 100m **第3位**(13秒19) 牧崎百花(2-5)
・女子共通 走幅跳 **第3位**(5m11) 牧崎百花(2-5)
・女子共通 100mH **第3位**(16秒24) 照屋李依(3-5)
・女子3年 100m **第4位**(12秒98) 桃原伶歌(3-4)
・女子共通 200m **第5位**(28秒77) 桃原伶歌(3-4)
・男子2年 100m **第2位**(11秒88) 山城友亜(2-7)
・男子2年 100m **第4位**(11秒96) 玉城智椰(2-6)
・男子共通 走幅跳 **第7位**(5m62) 玉城智椰(2-6)
・女子共通 四種競技 **第7位** 1287点 安田ほのか(3-5)
・男子1年 100m **第7位**(12秒75) 伊藝修一(1-2)
- 第71回沖縄県民体育大会水泳競技(令和元年6月22・23日)
・男子 100m平泳ぎ **第2位**(1分07秒94) 吉岡円舵(3-7)
・男子 200m平泳ぎ **第2位**(2分30秒28) 吉岡円舵(3-7)
・女子 100m背泳ぎ **第2位**(1分08秒03) 加屋本悠(3-7)
・女子 50m背泳ぎ **第2位**(32秒44) 當間千夏(1-1)
・女子 400m個人メドレー **第3位**(5分28秒26) 當間千夏(1-1)
- 第22回全沖縄県中学校空手道競技大会(令和元年6月29日)
・男子個人形 **優勝** 島袋生成(3-1)
・男子個人組手 **優勝** 島袋生成(3-1)
・男子団体形 **3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子団体組手 **3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子総合 **準優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子個人組手 **3位** 佐藤永理(3-7)
・女子総合 **準優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子団体組手 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第61回沖縄県中学校水泳競技大会(令和元年7月6・7日)
・男子 100m平泳ぎ **第1位**(1分08秒34) 吉岡円舵(3-7)
・男子 200m平泳ぎ **第1位**(2分30秒37) 吉岡円舵(3-7)
・女子 100m背泳ぎ **第1位**(1分08秒24) 加屋本悠(3-7)
・女子 200m自由形 **第2位**(2分13秒29) 加屋本悠(3-7)
・女子 200m個人メドレー **第1位**(2分32秒37) 當間千夏(1-1)
・女子 400m個人メドレー **第1位**(5分28秒60) 當間千夏(1-1)

- 第59回沖縄県中身体操・新体操競技大会(令和元年7月7日)
・新体操 女子種目別ボール **3位** 堀切華(3-6)
- 第30回沖縄県中学校柔道競技大会(令和元年7月13日)
・女子団体 **優勝** 沖縄尚学高校附属中学校A
・女子団体 **準優勝** 沖縄尚学高校附属中学校B
・女子52kg級 **優勝** 島袋結子(3-2)
・女子70kg級 **優勝** 玉城美桜(2-4)
・女子70kg超級 **優勝** 宮里心寧(1-1)
- 第39回沖縄県中学校夏季陸上競技大会(令和元年7月13・14日)
・学校対抗 総合の部 **優勝** 60点 沖縄尚学高等学校附属中学校
・学校対抗 女子の部 **準優勝** 38点 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女共通 4×100mリレー **第1位**(52秒20)
照屋希歩(3-1)、牧崎百花(2-5)、照屋李依(3-5)、桃原伶歌(3-4)
・女2年 100m **第3位**(13秒05) 牧崎百花(2-5)
・女共通 走幅跳 **第3位**(5m14) 牧崎百花(2-5)
・男低学 100m **第1位**(14秒37) 山城友亜(2-7)
・女共通 100mH **第3位**(15秒88) 照屋李依(3-5)
・女3年 100m **第3位**(13秒01) 桃原伶歌(3-4)
・男低学 4×100mリレー **第2位**(48秒13)
山城友亜(2-7)、伊藝修一(1-2)、丸山駿(1-6)、玉城智椰(2-6)
- 第9回夏季総合水泳競技大会(令和元年7月21日)
・男子 13～14歳 50m平泳ぎ **第1位**(31秒04) 吉岡円舵(3-7)
・男子 13～14歳 100m平泳ぎ **第1位**(1分06秒47) 吉岡円舵(3-7)
- 第41回九州中学校陸上競技大会(令和元年8月7・8日)
・男低学年 4×100mリレー **第4位**(47秒49)
玉城智椰(2-6)、丸山駿(1-6)、伊藝修一(1-2)、細田琉夏(2-2)
儀間航太(1-2)、山城友亜(2-7)
- 第10回那覇地区中学校強化卓球競技大会(令和元年8月8日)
・女子個人1年の部 **3位** 新城美優(1-5)
- 第27回「全国中学生空手道選手権大会」(令和元年8月17日)
・男子個人形 **第7位** 島袋生成(3-1)
- 第50回全沖縄ジュニア陸上競技選手権大会(令和元年8月24・25日)
・女ABC共通 4×100mリレー **第1位**(52秒26)
照屋希歩(3-1)、牧崎百花(2-5)、大嶺里緒(1-3)、桃原伶歌(3-4)
・男少年B 走幅跳 **第6位**(5m45) 玉城智椰(2-6)
・男少年B 100m **第6位**(11秒74) 玉城智椰(2-6)
・女少年C 走幅跳 **第3位**(5m04) 牧崎百花(2-5)
・女少年C 100m **第1位**(13秒06) 牧崎百花(2-5)
・女少年B 100m **第4位**(13秒02) 桃原伶歌(3-4)
・女少年A 100mH **第2位**(16秒33) 桃原伶歌(3-4)
・男少年C 100m **第5位**(12秒44) 伊藝修一(1-2)
・男少年B 走幅跳 **第4位**(5m50) 山城友亜(2-7)
・男少年B 100m **第3位**(11秒59) 山城友亜(2-7)
・男少年B 100m **第4位**(11秒59) 西原尽之助(3-2)
・男少年B 1500m **第4位**(4分36秒14) 濱田光(2-5)
- 第38回タイス杯クラブ対抗水泳競技大会・第51回九州ジュニア水泳競技大会沖縄県予選会(令和元年8月25日)
・男子 50m平泳ぎ **第1位**(31秒29) 吉岡円舵(3-7)
・男子 100m平泳ぎ **第1位**(1分07秒96) 吉岡円舵(3-7)
・男子 200m平泳ぎ **第1位**(2分29秒45) 吉岡円舵(3-7)
・男子 200mリレー **第1位**(1分45秒34) 吉岡円舵(3-7)
・男子 200mメドレーリレー **第1位**(1分52秒30) 吉岡円舵(3-7)
・女子 100m背泳ぎ **第1位**(1分08秒24) 加屋本悠(3-7)
- 第15回那覇地区中学校ダブルスパドミントン強化大会(令和元年9月8日)
・女子ダブルス **3位** 和田七星(1-1)、山田叶乃(2-7)

文化活動表彰者一覧

2019(平成31・令和元)年

- 第54回全沖縄縄算選手権大会(令和元年7月7日)
・中学生の部 読上算競技 **第2位** 宮城徳(3-2)
・中学生の部 読上暗算競技 **第2位** 宮城徳(3-2)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技 **第2位** 宮城徳(3-2)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技 **第2位** 齊藤聖(3-6)
・中学生の部 読上算競技 **第2位** 森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上暗算競技 **第2位** 森蒼依(1-7)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技 **第2位** 森蒼依(1-7)
・中学生の部 個人総合競技 **第2位** 森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上暗算競技 **第2位** 嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 個人総合競技 **第2位** 嘉陽宗麿(1-1)
- 第16回「おきなわの観光」意見発表コンクール(令和元年7月21日)
・学校特別賞 沖縄尚学高等学校附属中学校
・優秀賞 植村あまね(1-2)
- 第86回NHK全国学校音楽コンクール沖縄県コンクール(令和元年8月6日)
・銅賞 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第29回「児童・生徒の平和メッセージ」(令和元年8月19日)
・作文部門 **優良賞** 盛田葵生(2-7)
・作文部門 **優良賞** 津嘉山理子(2-5)
・作文部門 **佳作** 比嘉岳洋(2-6)
・作文部門 **佳作** 山本修二(2-5)



ご声援ありがとうございました